

893. Hyperbolic complex number ノ 函 數 論 = 就 テ

高 須 鶴 三 郎 (東 北 帝 大)

本誌前号ヲ表題ノ如クナリテ、並ニ = parabolic complex number ノ 函 數 論 ノ 文 獻 = 就 テ オ 尋 不 致 シ テ 置 キ マシタ処、早速淺野啓三兄ガ有益ナル注意ヲ與ヘラレマシタガ、其ノ後柴垣和三雄兄ノ御紹介デ、電氣試験所、後藤以紀博士ガ1929以來Hyperbolicノ場合ニ着眼サレ;

$$A = A_c + k A_k,$$

$$(k^n k = k^{n+1}, k^{2n} = 1, k^{2n+1} = k \neq \pm 1,$$

n ハ任意整数)

ノ 函 數 論 ヲ start セラレ、淺野君ノ御注意ノ方面ニ大体ヤツテ居ラレルコトヲ次ノ論文ヲ以テ便リシテ下サイマシタ。

1. 對稱座標法及ビ円函數ノ特殊記号法ニ依ル對稱、

三相路ノ諸關係式 (昭和四年七月電氣學會雜誌第492号)

2. 最小自乘法ノ檢討 (昭和十三年四月同誌597号)

3. 双曲數ニツイテ (昭和十三年六月電氣試験所彙報第2卷第6号)

4. 双曲數ノ應用ニ就イテ (第4回日本工學會大會電氣部會豫稿 (昭和十五年四月))

5. 双曲數ノ諸性質ト其ノ應用 (昭和十四年十一月、第十五回聯合大會豫稿)

茲ニ柴垣氏並ニ同博士ノ御好意ヲ感謝シ、敬意ヲ払ヒ、私共ト他學界トノ連絡ヲトツテクレタ本誌ニ謝意ヲ表シマス。

尚該方面ノ *systematic development* ノ必要ハ益々痛感セラレマスカラ、愈稿ヲ進メルト共ニ、ヒソソデ介在スル文献ニ就テ引キツギキ皆様ノ御情報ヲ御願ヒ申上ゲマス。